令和3年度 入学生用 [地理歴史科] シラバス

北海道北見緑陵高等学校

教科	科目	単位数	種別	年次	
地理歴史	地理A	3	選択科目	3年	
使用教科書	未定			担当者	

学習目標	社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。																		
学習方法	ワークシートを中心に授業を進め、教科書や地図帳からさまざまな情報を読み取りながら思考を深める。 学習した地理の基礎的事項を活用しながら、世界の諸地域や地球的な課題について、多面的に考察する。																		
学習評価	<table border="1"> <tr> <th>育成を目指す資質・能力</th> <th>育成を目指す資質・能力の評価内容</th> </tr> <tr> <td>1 基礎的学力</td> <td>文章を読み解き、対話により意見や考えを他者と交わすことができる。</td> </tr> <tr> <td>2 問題発見・解決能力</td> <td>問いを立て、解決に向かうことができる。</td> </tr> <tr> <td>3 情報活用能力</td> <td>情報を活用し、問題発見・解決や自分の考えの形成に役立てることができる。</td> </tr> <tr> <td>4 主体的判断能力</td> <td>物事を多面的に吟味し、主体的に判断・行動することができる。</td> </tr> <tr> <td>5 協働能力</td> <td>他者を尊重し、協働することができる。</td> </tr> <tr> <td>6 自律力</td> <td>規範意識をもって自律的に行動することができる。</td> </tr> <tr> <td>7 実践力</td> <td>自ら考えて行動し実践することができる。</td> </tr> <tr> <td>8 自己認識力</td> <td>自分の思考を客観的に捉えることができる。</td> </tr> </table> <p>以上の観点をふまえ、</p> <ul style="list-style-type: none"> 定期考査、ワークシート、グループワークの取り組み状況などを総合的に評価します。 主に、定期考査・小テストで主に1・3を、ワークシート・グループワークなどで2・4～8を評価します。 	育成を目指す資質・能力	育成を目指す資質・能力の評価内容	1 基礎的学力	文章を読み解き、対話により意見や考えを他者と交わすことができる。	2 問題発見・解決能力	問いを立て、解決に向かうことができる。	3 情報活用能力	情報を活用し、問題発見・解決や自分の考えの形成に役立てることができる。	4 主体的判断能力	物事を多面的に吟味し、主体的に判断・行動することができる。	5 協働能力	他者を尊重し、協働することができる。	6 自律力	規範意識をもって自律的に行動することができる。	7 実践力	自ら考えて行動し実践することができる。	8 自己認識力	自分の思考を客観的に捉えることができる。
	育成を目指す資質・能力	育成を目指す資質・能力の評価内容																	
	1 基礎的学力	文章を読み解き、対話により意見や考えを他者と交わすことができる。																	
	2 問題発見・解決能力	問いを立て、解決に向かうことができる。																	
	3 情報活用能力	情報を活用し、問題発見・解決や自分の考えの形成に役立てることができる。																	
	4 主体的判断能力	物事を多面的に吟味し、主体的に判断・行動することができる。																	
	5 協働能力	他者を尊重し、協働することができる。																	
	6 自律力	規範意識をもって自律的に行動することができる。																	
	7 実践力	自ら考えて行動し実践することができる。																	
8 自己認識力	自分の思考を客観的に捉えることができる。																		
担当者から	ワークシートを中心に授業を展開します。自分の考えを積極的に表現してください。 日頃から世の中に興味を持って、新聞やニュースを見ましょう。																		

月	大単元	単元(題材)	学習内容	重点評価事項(資質・能力)								単元(題材)の評価基準	評価方法			
				1	2	3	4	5	6	7	8					
4	第1部 現代世界の特色と世界の諸地域の課題	1章 旅からとらえる現代世界	1情報通信・交通			○		○					地理に関わる諸事象の基礎的な知識を理解し、資料から必要な情報を読み取る。 旅に着目して、多面的・多角的に考察し、議論する。 世界の地理的な課題を主体的に追求する。	年4回の定期考査 ワークシート 小テスト グループワーク などを元に評価する。		
4			2地球儀と地図			○	○					○				
4			3経度・緯度		○	○	○									
4			4国家・領土問題		○	○					○					
4			5国家間の結びつき		○	○			○							
4			6貿易				○	○	○							
5		2章 世界の自然環境と文化	1地形			○	○	○								
5			2気候			○	○	○								
6			3文化						○		○	○				
6		3章 世界の諸地域の生活・文化	1中国	1中国			○		○						世界の生活文化の多様性を理解し、資料から必要な情報を読み取り、まとめる。 位置や分布、場所、地域などに着目して、既習事項を活用しながら多面的・多角的に考察し、議論する。 世界の諸地域の多様な生活文化を尊重する。	
7				2韓国			○		○							
7				3東南アジア			○				○					
8				4南アジア			○				○					
9				5中央アジア・西アジア・北アフリカ			○				○					
9				6サハラ以南のアフリカ			○				○					
9				7ヨーロッパ			○				○					
9				8ロシア		○		○	○							
10				9アメリカ合衆国		○		○	○							
10	10ラテンアメリカ					○				○						
10	11オセアニア					○				○						
11	4章 地球規模で広がる課題	1人口問題	1人口問題			○				○	○	地球的課題への取り組みを理解し、資料から必要な情報を読み取り、まとめる。 地球的課題について、多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想する。 より良い社会の実現を視野に、地球的課題を主体的に追求、解決しようとする。				
11			2食糧問題			○					○		○			
11			3都市・居住問題			○							○	○		
12			4資源・エネルギー問題			○							○	○		
12			5環境問題			○							○	○		
12			6地球的課題の解決に向けて							○	○			○		
1	第2部 身近な地域の課題	1章 身近にあるさまざまな地図	1主題図・一般図	○		○	○					防災、地域の取り組みなどを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いる。 調査や資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる。 より良い地域の実現を視野に、地域で見られる課題を主体的に追求、解決しようとする。				
1			2GIS	○		○	○									
1		2章 日本の自然環境と防災	1日本の自然環境	○						○	○					
1			2防災の取り組み					○		○	○					
1		3章 身近な地域の課題と地域調査	1地域調査	1地域調査				○			○		○			